

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書
【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】 関東財務局長
【提出日】 2020年2月14日
【四半期会計期間】 第71期第3四半期(自2019年10月1日至2019年12月31日)
【会社名】 株式会社フジマック
【英訳名】 FUJIMAK CORPORATION
【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 熊谷 光治
【本店の所在の場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号
【電話番号】 03 - 3434 - 7791
【事務連絡者氏名】 経理部長 岡部 伸二
【最寄りの連絡場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号
【電話番号】 03 - 3434 - 7791
【事務連絡者氏名】 経理部長 岡部 伸二
【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第70期 第3四半期 連結累計期間	第71期 第3四半期 連結累計期間	第70期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	26,547,336	26,673,889	36,899,822
経常利益 (千円)	1,696,199	1,248,147	2,180,181
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	1,090,286	778,147	1,496,055
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	970,755	762,734	1,502,989
純資産額 (千円)	17,724,253	18,757,055	18,256,446
総資産額 (千円)	33,664,625	34,941,529	35,644,100
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	83.19	59.37	114.15
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	52.6	53.7	51.2

回次	第70期 第3四半期 連結会計期間	第71期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	25.63	13.27

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在しておりません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や個人消費は緩やかではありますが、持続的な回復を遂げました。しかし、消費税の引き上げ後、年末にかけて生産・サービス活動が弱含みで推移し、輸出も鈍化して経常収支の黒字幅が縮小傾向になった模様で、一昨年にも増して回復力はかなり減衰したものと思われます。

世界経済は、全体を俯瞰すれば横ばいで推移しました。その中で米国は堅調な雇用情勢をバックに引き続き堅調で、欧州は年半ばに製造業中心に輸出が持ち直して回復傾向にあり、中国は低下傾向に一応の歯止めがかかりました。年末には、米国の対中国追加関税第4弾は見送られましたが、今後も米中対立が世界の貿易環境に悪影響を及ぼしかねず、世界経済全体のリスクシナリオはさらに不透明感が増したものになりました。

このような内外の経済環境の下、当社グループは、あらゆる業種・業態のお客様の様々なニーズやご要望に、迅速且つ的確にお応えすべく、引続き、生産、物流、設計、施工、営業、サービスの一貫体制の強化に努めてまいりました。

こうしたことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は266億7千3百万円（前年同期比0.5%増）となりました。利益面につきましては、経常利益は12億4千8百万円（前年同期比26.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億7千8百万円（前年同期比28.6%減）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、現預金・棚卸資産の増加、売上債権の減少等の結果、前連結会計年度末比7億2百万円減の349億4千1百万円となりました。負債につきましては、仕入債務・賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末比12億3百万円減の161億8千4百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比5億円増の187億5千7百万円となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、3億4千6百万円であります。

主なものは、製品の品質及び安全性の向上に向けた開発並びに製品の省人化・省力化を目的とした食器自動洗浄システムの開発等であります。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売の実績に著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画に著しい変更はありませんが、予て南麻布の所有地に建替え建築中でありました事務所ビルについては、2020年6月の完成後7月に本社機能等を移転・集約し、本社ビルとして利用する予定であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,272,000	14,272,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数100株
計	14,272,000	14,272,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年12月31日	-	14,272,000	-	1,471,150	-	1,148,365

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,165,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,103,800	131,038	
単元未満株式	普通株式 2,500		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	14,272,000		
総株主の議決権		131,038	

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区新橋五丁目 14番5号	1,165,700	-	1,165,700	8.17
計		1,165,700	-	1,165,700	8.17

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
取締役 中四国事業部長	取締役 中四国事業部長、 広島営業部長	村岡 哲	2019年10月1日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,871,129	10,549,291
受取手形及び売掛金	7,890,705	5,312,853
有価証券	-	10,000
商品及び製品	3,285,131	4,128,885
仕掛品	115,336	107,170
原材料及び貯蔵品	1,125,201	1,075,274
その他	513,499	616,694
貸倒引当金	212	4,204
流動資産合計	22,800,792	21,795,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,417,716	5,576,960
減価償却累計額	2,474,901	2,697,082
建物及び構築物(純額)	2,942,815	2,879,877
機械装置及び運搬具	4,338,776	4,440,925
減価償却累計額	3,211,273	3,423,904
機械装置及び運搬具(純額)	1,127,503	1,017,020
土地	4,071,078	4,082,160
その他	2,335,108	2,741,820
減価償却累計額	1,563,043	1,633,760
その他(純額)	772,065	1,108,059
有形固定資産合計	8,913,463	9,087,118
無形固定資産	230,732	215,233
投資その他の資産		
投資有価証券	1,958,753	1,984,619
その他	1,852,491	1,939,927
貸倒引当金	112,132	81,336
投資その他の資産合計	3,699,112	3,843,210
固定資産合計	12,843,308	13,145,563
資産合計	35,644,100	34,941,529

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,269,751	8,734,143
短期借入金	-	39,492
1年内返済予定の長期借入金	566,682	444,862
未払法人税等	221,906	89,250
賞与引当金	530,951	259,568
役員賞与引当金	45,654	34,693
製品保証引当金	76,900	71,200
受注損失引当金	-	17,000
その他	2,079,445	2,085,463
流動負債合計	12,791,291	11,775,674
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	2,145,240	1,860,334
退職給付に係る負債	97,619	133,660
その他	1,353,502	1,414,804
固定負債合計	4,596,362	4,408,798
負債合計	17,387,654	16,184,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	13,277,125	13,793,147
自己株式	441,951	441,951
株主資本合計	15,454,689	15,970,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	931,194	949,470
土地再評価差額金	1,727,010	1,727,010
為替換算調整勘定	143,552	109,863
その他の包括利益累計額合計	2,801,756	2,786,344
純資産合計	18,256,446	18,757,055
負債純資産合計	35,644,100	34,941,529

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	26,547,336	26,673,889
売上原価	17,616,660	17,890,192
売上総利益	8,930,675	8,783,696
販売費及び一般管理費	7,350,681	7,643,836
営業利益	1,579,993	1,139,860
営業外収益		
受取利息	10,073	15,587
受取配当金	24,795	26,049
受取手数料	38,220	42,085
受取賃貸料	36,243	32,646
その他	47,518	24,110
営業外収益合計	156,851	140,479
営業外費用		
支払利息	25,983	21,650
その他	14,662	10,541
営業外費用合計	40,646	32,192
経常利益	1,696,199	1,248,147
特別利益		
固定資産売却益	1,687	3,664
投資有価証券売却益	0	66
特別利益合計	1,687	3,731
特別損失		
固定資産売却損	-	203
固定資産除却損	24,241	1,100
投資有価証券売却損	-	872
投資有価証券評価損	26,372	3,046
抱合せ株式消滅差損	-	31,829
特別損失合計	50,613	37,053
税金等調整前四半期純利益	1,647,272	1,214,825
法人税、住民税及び事業税	411,432	338,659
法人税等調整額	145,553	98,017
法人税等合計	556,985	436,677
四半期純利益	1,090,286	778,147
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,090,286	778,147

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,090,286	778,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103,269	18,275
為替換算調整勘定	16,261	33,688
その他の包括利益合計	119,530	15,412
四半期包括利益	970,755	762,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	970,755	762,734
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングの会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングを満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形	194,675千円	173,337千円
支払手形及び買掛金	726,943 "	888,155 "
その他(設備関係支払手形)	2,112 "	831 "

(四半期連結損益計算書関係)

注記すべき事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	472,534千円	531,770千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	262,128	40	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

(注) 2018年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり配当額につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	262,125	20	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	83円19銭	59円37銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,090,286	778,147
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	1,090,286	778,147
普通株式の期中平均株式数(株)	13,106,374	13,106,290

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月12日

株式会社フジマック
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 野 英 樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渡 辺 雅 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。